

## 制度利用アンケート集計結果（速報）

環境省関係石綿による健康被害の救済に関する法律施行規則第 14 条の規定により、被認定者（石綿健康被害医療手帳所持者すなわち制度利用者）は、毎年 5 月に「現況の届出」を環境再生保全機構に提出しなければならないとされている。

本資料は、独立行政法人環境再生保全機構石綿健康被害救済部が、平成 22 年 4 月に、現況届の用紙を被認定者に送付する際に「制度利用アンケート」票を同封して、回答をお願いし、得られた回答を集計したものである。611 人中 518 人から回答を得られた。

## 〔属性等〕

○被認定者の性別・疾病別 [問1-1]

	男性	女性	無回答	計
中皮腫	252	121	3	376
肺がん	125	12		137
無回答	3	1	1	5
計	380	134	4	518

○被認定者の年齢階層別 [問1-1]

	男	女	無回答	計
10代以下	0	0	0	0
20代	0	1	0	1
30代	3	3	0	6
40代	16	9	0	25
50代	40	22	2	64
60代	127	51	1	179
70代	145	39	0	184
80代	45	9	0	54
90以上	0	0	0	0
無回答	4	0	1	5
計	380	134	4	518

○アンケートの記入者 [問1-2]

	件数	割合
被認定者本人	355	68.5%
家族が代理として	144	27.8%
無回答	19	3.7%
計	518	100.0%

○被認定者の家族構成 [問1-3]

	件数			
	男性	女性	無回答	計
本人のみ(独居)	41	18	1	60
本人+配偶者	161	35	1	197
本人+配偶者+子(孫) (子・孫が複数いる場合、子に配偶者が いる場合を含む)	106	45	1	152
その他	58	34	0	92
無回答	14	2	1	17
計	380	134	4	518

【療養の状況】

○この1ヶ月間(平成22年3月。以下同じ。)の生活の様子について、最も当てはまるもの  
(認定疾病別) [問5-1]

		1.主に入院	2.主に自宅 (通院・往診 等療養中心)	3.通院しな がら仕事	4.その他	5.無回答	計
総 計	中皮腫	57	211	71	23	14	376
	肺がん	13	74	30	11	9	137
	無回答	0	2	2	1	0	5
	計	70	287	103	35	23	518
	割合	13.5%	55.4%	19.9%	6.8	4.4%	100.0%

○この1ヶ月間に通院をしたか [問5-2-①]

	件数	割合
はい	380	73.4%
いいえ	68	13.1%
無回答	70	13.5%
計	518	100.0%

○通院医療機関の所在地 [問5-2-②]

	件数	割合
居住地と同一の市町村(東京23区は同一区)	182	44.3%
居住地と同一の都道府県	174	42.3%
居住地の都道府県以外の都道府県	55	13.4%
計	(411)	(100.0%)

○通院医療機関までの片道距離 [問5-2-③]

	件数	割合
1km未満	0	0.0%
1～3km未満	40	11.0%
3～5km未満	36	9.9%
5～10km未満	68	18.7%
10～20km未満	118	32.4%
20～50km未満	72	19.8%
50～100km未満	22	6.0%
100km以上	8	2.2%
計	(364)	100.0%

○主な交通手段 [問5-2-④]

	件数	割合
徒歩・自転車	13	2.9%
自家用車	237	53.3%
公共交通機関	128	28.8%
その他	67	15.1%
計	(445)	100.0%

○この1ヶ月間にかかった費用（交通費） [問5-2-⑤]

	件数	割合
5,000 円未満	288	72.5%
5,000～9,999 円	64	16.1%
10,000～14,999 円	20	5.0%
15,000～19,999 円	6	1.5%
20,000～24,999 円	10	2.5%
25,000～29,999 円	4	1.0%
30,000 円以上	5	1.3%
計	(397)	100.0%

○この1ヶ月間に入院をしたか [問5-3-①]

	件数	割合
はい	97	25.6%
いいえ	282	74.4%
計	(379)	100.0%

○この1ヶ月間に入院にかかった費用で医療費以外のもの [問5-3-②]

	件数	割合
10,000 円未満	45	45.0%
10,000～19,999 円	18	18.0%
20,000～49,999 円	24	24.0%
50,000～99,999 円	7	7.0%
100,000～144,999 円	4	4.0%
150,000～199,999 円	2	2.0%
200,000 円以上	0	0.0%
計	(100)	100.0%

○日常生活の自立の状況 [問5-4-①]

	件数	割合
日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる	310	69.5%
屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしに外出できない	95	21.3%
屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つことができる	28	6.3%
1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する	13	2.9%
計	(446)	100.0%

○主に介助や手助けをしている方 [問5-4-②]

	件数	割合
配偶者	227	69.2%
子	53	16.2%
子の配偶者	11	3.4%
父母	5	1.5%
事業者(ホームヘルパー等)	15	4.6%
その他	17	5.2%
計	(328)	100.0%

○この1ヶ月間に介護のためにかかった費用 [問5-4-③]

	件数	割合
10,000円未満	148	82.8%
10,000～19,999円	11	6.1%
20,000～49,999円	13	7.2%
50,000～99,999円	6	3.3%
100,000～144,999円	0	0.0%
150,000～199,999円	1	0.6%
200,000円以上	1	0.6%
計	(180)	100.0%

## 〔制度についての意見等〕

○石綿健康被害救済制度に全体的に満足しているか [問6]

	件数	割合
とても満足だ	62	12.0%
満足だ	228	44.0%
どちらともいえない	148	28.6%
不満だ	40	7.7%
とても不満だ	21	4.1%
無回答	19	3.7%
計	518	100.0%

○認定・支給を受けて生活上の負担感はどうなったか [問6-1]

	件数	割合
とても軽くなった	69	13.3%
軽くなった	330	63.7%
変わらない	73	14.1%
重くなった	16	3.1%
とても重くなった	9	1.7%
無回答	21	4.1%
計	518	100.0%

○石綿健康被害救済制度の給付内容に対する意見・要望 [問6-2]

※ 意見・要望が多数あったものを集約

- ・給付の増額を求めるもの（療養手当の増額、労災並みの給付 など）（47件）
- ・制度に対する感謝（42件）
- ・認定の有効期間に対する不満・不安（13件）
- ・制度の継続を望むもの（10件）
- ・医療費以外の費用の補助を求めるもの（交通費、介護費用など）（9件）
- ・申請から認定までの期間の短縮、手続の簡素化を求めるもの（8件）
- ・損失補てん、補償を求めるもの（6件）
- ・治療法の確立を求めるもの（4件）

○申請から認定までの手続について、今後見直した方がよいと思われること（複数回答可）

[問7、7-1]

	件数	割合 (母数“518”)
様式の内容	37	7.1%
手引きの内容	49	9.5%
プライバシーへの配慮	19	3.7%
指定疾病	25	4.8%
説明の態度・言葉遣い	13	2.5%
エックス線画像等の提出	28	5.4%
戸籍・住民票等の提出	17	3.3%
認定までの審査期間	166	32.0%
給付金額	119	23.0%
その他	16	3.1%
	(518)	(100%)

○より良い療養を行えるような環境整備についての意見 [問8]

※ 意見・要望が多数あったものを集約

- ・ 治療法の研究・開発（43件）
- ・ 治療法や療養、介護についての情報提供（61件）
- ・ 医療機関に対する周知・情報提供（16件）
- ・ 石綿関連疾患の専門医・専門医療機関の増加（12件）
- ・ 患者・家族のネットワーク（8件）
- ・ 経済的支援（給付増額など）（7件）